

第4回鹿沼市総合計画審議会（令和3年6月23日）議事録

1 概要

日時	令和3年6月23日（水）10：00～11：00
場所	鹿沼市民文化センター 1階 大会議室
出席者	3 参加者名簿 のとおり

2 内容

項目
内容
会長あいさつ・市長あいさつ
<p>【奈良部会長】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 厳しい時代にも市民が安心して暮らせるよう、持続可能なまちの実現のために、市民協働への流れをしっかりと作っていきたいと考えている。 <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 昨年度は基本構想について審議いただいた。今年度は基本計画を策定していくことになるが、人口の見通しと大きく関係してくる。より実態に即した、身の丈にあった、持続可能性を追求した計画となるよう、お知恵をいただきたい。
議事1 「第8次鹿沼市総合計画序論・基本構想（案）」の振り返りと進捗状況
<ul style="list-style-type: none">・ 【事務局】資料に基づき説明。
議事2 施策体系について
<ul style="list-style-type: none">・ 【事務局】資料に基づき説明。・ 【佐藤委員】政策の形容動詞部分は感じ方に個人差がある。特定のキャッチフレーズを紐づけると、複合的な視点が失われないか。 → 【事務局】御指摘の事項については庁内で連携や調整を図る。・ 【増淵委員】曖昧で市民に伝わりにくい。議会マーケティング委員会の回答率は100%を超え、期待の高さがうかがえる。具体的な内容でないと人口流出は止まらない。流出してしまった人口を市内に戻す道を示すのが総合計画。これらの考えについて事務局の見解を問う。 → 【事務局】政策では大まかな全体像を示し、施策で具体的な内容を示す。形容動詞とともに方向性を示している。表現方法を見直す。

議事3 基本計画紙面レイアウトについて

- ・【事務局】資料に基づき説明。
- ・【佐藤委員】目標指標は客観的なデータをもとに設定するのか。
→【事務局】基礎調査結果などの統計指標も参考に設定する。指標は継続的に管理し、実績を分析しまちづくりに生かしていく。

議事4 市民参画の実施について

- ・【事務局】資料に基づき説明。
- ・【増淵委員】「持続可能なまち」をどう捉えているか。どのように誘導せず若者から考えを聞き出すのか。
→【事務局】人口減少に対応すべく、優先順位付けや市民と行政の連携や役割分担などにより過度な財政負担とならないようにしつつ市民の幸福感を重視していく。若者たちには夢とともに自分たちができることを聞き、計画に活かしたい。
- ・【宇賀神委員】優秀な層に参加者が偏っているように感じる。そうではない層にも働きかける必要があるのではないか。
→【事務局】もっと広く周知すべきという点は反省もあるが、幅広い層の参加者がいることに加え、昨年度実施したWEBアンケートも活用する。
- ・【上澤委員】世論調査は活用しないのか。
→【事務局】活用する方向で進めている。
- ・【佐藤委員】予算はどのくらいか。なぜこのタイミングなのか。どの範囲まで公開する予定か。
→【事務局】予算は特段設けていない。基本計画の施策の検討の参考とするため、このタイミングとなった。結果や写真、参加者の属性などを公開することを考えている。

議事5 現行総合計画の実績評価などについて

- ・【事務局】資料に基づき説明。

3 参加者名簿

No.	氏名	所属
1	阪田 和哉	国立大学法人宇都宮大学地域デザイン科学部
2	設楽 昭子	鹿沼市小中学校校長会
3	菅俣 宗良	栃木県総合政策部
4	小曾戸 庸忠	栗野森林組合
5	野口 重彦	鹿沼ケーブルテレビ株式会社
6	奈良部 実	鹿沼市自治会連合会
7	平野 克己	特定非営利活動法人かぬま市民活動サポーターズ
8	上澤 孝重	鹿沼市民生委員児童委員協議会連合会
9	鈴木 康子	鹿沼市老人クラブ連合会
10	渡辺 保	鹿沼市森林組合
11	内田 昭	鹿沼市相互信用金庫
12	小杉 安治	上都賀農業協同組合
13	矢野 省一	きれいなまちづくり推進員協議会
14	宇賀神 勝	一般社団法人栃木県建設業協会鹿沼支部
15	増渕 靖弘	鹿沼市議会
16	鈴木 敏雄	鹿沼市議会
17	佐藤 誠	鹿沼市議会